

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「個別ケアによる家庭的雰囲気の中で豊かな人間関係を保ち支えあう暮らしを目指しましょう」を理念としている。	○ 理念がさらに浸透するよう努めたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に基づいたケアを実践し利用者が快適な生活が出来るよう取り組んでいる。	○ 職員間でのカンファレンス・ミーティング等を通して理念を共有し、実践に取り組んでいく。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族・近隣の方の来苑時や運営推進会議等を通じて、地域に馴染んだ生活の重要性を理解してもらえるよう働きかけている。	○ 管理者・職員が共に地域資源の大切さを把握し地域のネットワークを築いていきたい。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩に出かけ近隣の方と出会ったときは、率先して挨拶や会話をしている。	○ 苑でのいろいろな事を近隣の方にもお知らせし、参加して頂ける様、機会を設けたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の方から、防災訓練や、市民体育祭等の情報を頂き、利用者と共に参加させて頂き交流を深めている	○ 色々な情報を頂ける様、又利用者と共に参加できるように日々地域との交流を大切にしていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	入居を希望する家族の介護相談・見学等を随時行っている。	○	近隣に住む独居高齢者が当苑で行われるボランティア行事を楽しむ機会を持ちたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	支援の見直し評価、反省する事によりサービスの向上を目指す。普段気がつかないことが外部からの目により改善すべき事柄が発見でき取り組んでいく事ができる。	○	会議等を通じて改善点を話し合い策を講じて改善に向け実践していきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一回運営推進会議を苑で開催し、その時の状況を報告したり、又色々な参考資料に基づいて、意見交換を行っている	○	外部からの客観的な意見や助言を素直に受け止め、さらなる向上をしていけるよう、日々の業務に取り入れていきたい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	些細な事や相談にも応じて頂ける様、常日頃より、つながりが持てるように努めていきたい	○	色々な情報や相談事において気軽に対応して頂ける様人間関係を構築していきたい
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修や資料では学んでいるが、利用されている方が居ない為活用していない	○	色々な状態に応じて活用できるように努めたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	些細な事や変化を見逃さない為、日々の観察を怠らないように注意すると共に職員間でのコミュニケーションをとり、意見交換をしている	○	日々、利用者の様子を観察し、又職員がストレスを溜めないよう心のケアをしながら防止に努める

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	○	理解してもらえよう努める。
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	些細な事にも、対応し真摯に受け止め運営上の為改善するように努める
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	○	家人との対応を怠らないよう、努力している
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	改善策を考慮の上、運営向上になるよう取り組んでいきたい
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	○	ミーティングにて意見を出せるような雰囲気作りを心がけている。働きやすい職場作りに努めたい。
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	○	職員間で相談し勤務調整を行っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的には各ユニットの職員を固定化し馴染みの職員によるケアを心掛けている。新しいスタッフに対して抵抗を持たれる方については配慮し少しずつコミュニケーションが図れるよう全職員で努力している。	○	職員のストレスや仕事に対しての不安要因を改善できるように職員間で援助に対する考え方や悩みの相談などができるような雰囲気作りに努めたい。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	段階に応じた施設内外の研修に積極的に参加できるように取り組んでいる。職員間に於いては快くアドバイスをし合える関係作りを進めている。	○	様々な研修に参加できる環境作りに努め職員のスキルアップに繋げたい。また職員間のコミュニケーションを深めていきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	八尾市介護保険事業者連絡協議会や大阪認知症グループホーム協議会に加入し研修会や勉強会に参加し情報交換・サービスの向上に努めている。	○	連携を深め情報交換を行いサービスに活かしたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	法人全体のレクリエーション（日帰り旅行など）又職員同士の交流会・福利厚生を積極的に行っている。	○	職員間で話しやすい環境と不安に思う事柄などを解消出来るよう努力していきたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	介護に関する専門職としての意識を保ち日々の業務の中でやりがい・充実感を感じることができるよう努めている。	○	研修の機会は出来るだけ多く確保していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	暮らしに不便と感じる点や自分でできる事は自分で行い、できない事は支援する。又利用者中心で受容傾聴する姿勢が保てるように努力している	○	本人がしたいことであったり、本人らしさを尊重されること、生活規範が築けるように支援していきたい
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人が何を希望し、又どの様な生活支援を行うことにより、「そのひとらしさ」の表現を助ける事が出来るか等について又過去の生活背景を聞き、信頼関係を築いている	○	「その人らしく」生活する為に、どの様な支援をするべきか、家族と密に話し、信頼関係を構築する
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人にとって、何が必要か見極め、又、ニーズを把握し情報提供を行っている	○	生活背景など、過去の生活について情報を聞き、より良い支援ができるように努めたい
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	まずは、人間関係がうまく築けるようそして生活環境に慣れて頂ける様雰囲気作りを図る	○	本人が安心して、日々過ごせるように雰囲気作りを重要視し、家人もいつでも来苑できるよう不安に思われない体制を作っていく
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は、目上の方でもあり、尊重し、色々な面で知識も豊富であり教わることも多く、過去の生活状態も知りうる事もできコミュニケーションのきっかけとなっている	○	長年、生活されてきた経験を未熟な職員に伝授して頂きたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族交流会や、納涼祭等において、利用者と共に行事に参加され楽しく過ごされる様子が窺える。	○	行事以外にもいつでも来苑され、日々の生活状態を見て頂けるよう環境作りに努めている
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	来苑された時、居室や、フロア内で気軽に、談話ができる雰囲気や空間を作っている	○	本人に代わって、現状況を補足する場合もあり、安心して帰って頂ける様に随時、心がけている
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室において、本人の馴染みの道具や物を設置され「そのひとらしさ」を持続出来るように又思い出をたやさないようにしている	○	思い出の物や写真を時々だして懐かしがられたり、瞑想にふけられ、少しでも多くのコミュニケーションを取れるようにしている
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	皆で一緒にレクをしたり、歌を歌ったり、協力して作品を作ったりして頂き、利用者同士コミュニケーションを多く取られている	○	フロア内で過ごす時間が多く取れるよう、声かけし、色々な作業等に参加を促している
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	近隣に来られたら、気軽に立ち寄って頂ける様にと、日々のつながりを大切にしている	○	色々な行事など、継続して連絡を行っていきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「その人らしく」過ごせるよう、又家族の意向をふまえて対応している。3カ月に一回カンファレンスを行ったり、会議などで検討している。	○ 異変や変化、又は行動障害があった場合は早急にカンファレンスを行い対処している
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	それぞれの価値観、大切にしている物、生きがい、そして性格は違い、それを受容し把握に努めている	○ 些細な事、物でも人によっては、違うと言うことを理解し、受容していきたい
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの生活のパロメーターが違い、その人に似合った対応をし把握に努めている	○ 同じ人でも、日によって、生活パターンが違っており職員間で意見交換し、対応している
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	3カ月に一回カンファレンスを行っており、医療機関とも連携し、又家人の意向も聞きながら介護計画を作成している	○ 家人、医療機関、そして職員と情報交換を行い、より良い改善方法を実施できるよう、介護計画を作成していきたい
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化が生じた場合、すぐに家人、医療機関と話し合いの場を持ち、現状に応じた計画書を作成している	○ カンファレンスを行い現状に応じた改善方法を検討し、医療機関とも連携を取りながら、介護計画書の見直しを行っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を事細かに記入しており、それに応じた対応を行っている	○	日々の個別記録を重視しさらに充実した介護が出来るよう取り組んでいきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人家族の要望に応じて必要な手続きの支援また受診・外出・買い物などの支援を行っている。	○	様々な機関と連携をとり望むサービスが実施できるように努める。
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	現在、ボランティアの方により理髪を行っている、又時々、ボランティアの方による催し物や、行事の際お手伝いをお願いしている	○	ボランティアの方による催し物は、利用者の方に大変喜ばれている。色々な情報を収集し、活用させて頂きたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域との連携を密にし、情報交換を行っている	○	情報交換を行い連携を深めていく。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括センターと協力し合える関係を保っている。	○	必要に応じて協働していく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関と連携をとり、本人や家族の意向を大切にし、日々本人の訴えや体調不良などに注意を払い、ドクター、ナースの指示を仰ぐ。又、苑外受診や特別な対応や処置については家族に状況を伝え協力又、承諾を頂いている	○	些細な変化にも、注意を払い又、見逃さないようドクター、ナースに報告し最善のケアができるよう支援する。そして家族にも報告は、怠らず協力をお願いしている
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	日常の状態や変化について主治医に詳しく説明し相談する。専門的な治療が必要であれば家族に報告そして協力して頂いている	○	日々の変化にも、職員間で意見交換を行い、疑問があれば追求し、ドクターとも連携を取りながら、早い対応をおこなっていく。そして家族の協力も得る
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護のサービスを通じて、ナースとも、すぐに連絡がとれるようになっておりナースとの距離感をなくし些細な事も報告し相談、そして助言を受けられるようになっている	○	利用者に対して、改善するべき事や注意するべき事をナースと密な連携により的確により良い対応ができるように努めたい
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	最近入院された方がおられず、日々利用者の体調管理には注意を払い、医療機関とも連携をとり対応している	○	早期退院後、医療機関と連携をとりながら、情報交換を行うそしてADL, IADLの改善に努めたい
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	職員間での情報交換を常に行っており、主治医、ナース、家族と共にカンファレンスを実施し、検討する。又常に状況を報告している	○	状況を主治医、ナースより聞き、利用者が安心して過ごせるように取り組み、又、主治医より、家族に状況を報告して頂く
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者や家族の意向を優先し、主治医、ナースと連携をとり出来る限り柔軟に対応している。又、職員間でカンファレンスを行い最善の支援ができるよう検討を行っている	○	医療機関や職員間での意見交換を密にし、できる事、できない事を見極め、より良い支援を目指していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	事前に面会をし、安心して暮らせる様情報交換を行い、慣れ親しんだ物馴染みのある物、家具や布団等を持参して頂き少しでも自宅での生活に近づけるように努めている	○	出来る限り生活環境の変化によるダメージが少ないよう環境作り、雰囲気作りに努め、安心して生活できるように、又情報交換を密にしていきたい
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の扱いには充分気をつけ、一人ひとり、尊重し、又その人にあった言葉かけを行っており個人の誇りやプライバシーを傷つけないよう配慮している	○	プライバシーを重視しながらも、色々な変化を見落とさず又、個人情報の保護にも注意を払ってきたい
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の希望や意向が反映できる様、常に日々意見を伺ったり、カンファレンスにも参加して頂ける様にしている。	○	信頼関係を深め利用者が自己決定できる様声かけし、多くのコミュニケーションを取るようにしたい
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	それぞれの希望に沿っての支援は、難しいが出来る限りその人に合わせた援助が行えるよう、職員間で話し合いをし、柔軟に対応している	○	職員のペースに合わせて頂いている所もあるが余裕を持って一人ひとりに接して行けるよう、そして外出なども気分転換を兼ね機会を増やせればと思っている
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	近隣の美容院を利用したり、ボランティアの方により苑でカットをされている。又起床時の整髪、洗顔介助などでも髪飾りを使用されたり口紅をつけられたりする。一人ひとり、身だしなみには注意を払っている	○	自己決定されたり、自ら更衣される方が少なく、常に介助を要する人が増えてきている。声かけし、コミュニケーションを取りながら、衣類にて季節を感じていただき一人ひとりの希望を尊重していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その人の能力に応じて、できる事を手伝って下さる毎週日曜日お楽しみメニューを取り入れ、献立を考え、職員と一緒に調理され楽しみながら、参加されている	○	苑で食せない食事を外食にて楽しんで頂きたい又調理に於いては、出来るだけ大勢の入居者に携わって頂ける様取組んでいきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	食に関する興味を持たれない方が多く、定期的に外出し買い物される。目で見たい物を選んで頂いている。又希望を聞き、手作りおやつと一緒に作ってもらったりしている	○	気分転換を兼ね好みの物を購入するという目的をもって、又希望もとりいれ。外出する機会を増やしていきたい
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を作成し排泄パターンを観察し、トイレで排泄できるよう、又失禁予防の為それぞれに応じた状況を把握し定時のトイレ誘導を実施している	○	できるだけ、オムツの使用を減らし、尿意、便意を持続できるよう、又誘導により失禁予防に努める
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決めているが、その人の状態や希望に応じて対応している。二人介助にて浴槽に入ったりシャワー浴の方は足浴しながら、洗身を行えるよう配慮している	○	体調に応じて曜日を変更しているが、本人の希望に添える様自己決定できる様な雰囲気作りを目指しゆっくりと入浴して頂きたい。そしてゆず湯、菖蒲湯等実施している
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中は、なるべく活動し一日の生活リズムを整えるよう配慮している。又その時々において体調に考慮し、短時間の昼寝や休息を促している。夜間は良眠して頂ける様尿取りパットや湯たんぽをしようしている	○	昼夜逆転しないよう、夜間安眠の為、昼間、落ち着ける空間を多くつくり、日々おだやかに過ごせるよう、そしてレクなどに参加を促したり散歩や買い物機会の作る
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの能力に応じた役割を持って頂いたり、個々の興味のある事、得意な事を活かして頂ける様レクを考案して実施している。しかし無理強いせず、出来る範囲で楽しんで頂く。又、外出行事や買い物、散歩などを取り入れて気分転換を図る	○	地域にある色々な興味深い場所やお店を散策したりボランティア等の来苑回数を増やし、生活に変化をつけ、リフレッシュできるよう又レクに参加が難しい方への日々の楽しみを考慮していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理されている方がおり、買い物の際には、自ら支払いをされるときがある。その他の方も支払いを促すようにしている	○	買い物に行った時、品物を見て、今現在、いくらしているのか、価格を把握してもらえよう色々な事で刺激になればと思っている
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣の公園に散歩に行ったり、スーパーやコンビニに買い物に行ったり、喫茶店に行く機会を設けている。又本人から外出の訴えもある	○	一人ひとりの希望を聞き季候のよい時や不穏時等に気分転換を兼ね外出する機会を増やしたい
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年に数回ではあるが、外出行事を行っている。神社、お花見、遠足等を企画し、手作りの弁当を持って行ったり外食する機会を作っている	○	近場で興味を持てる場所を探索し行事に盛り込んでいきたい。又家人も参加できるような企画も考えていきたい
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたいと訴えがあれば応じている。年賀状も本人自ら作成し送っている	○	麦畑通信と言う小冊子を年4回送付している
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	時間を決めず、いつでも都合の良い時間で自由に来て頂けるよう配慮している。来苑されたときは、居室又は、フロア内のソファーにてゆっくりと過ごしていただいている。そして近況報告をおこなったり、写真等を見て頂いたりしている	○	気軽に来苑して頂ける様な雰囲気作りをし、心地よく過ごして頂けるよう工夫していきたい又、利用者の中には自ら話されない方や誰の訪問か解からない方があり、職員が間に入り色々なお話を聞かせてもらっている
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関しては共通の認識を職員間で図り、身体拘束を行わないように取り組んでいる	○	研修などに積極的に参加し尊厳を守るケアが実践できるよう取り組んでいきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関前が車道の為危険を伴う為施錠している。	○	少しの時間だけでも鍵をかけないケアに取り組むたいが危険を伴う為不安である
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室訪問時必ずノックをし声かけ行いドアを開けている。日中は、随時所在や様子は、把握している。又夜間は、2時間毎に巡視を行い安全確認をしている	○	常に気配りを行い把握しているが、見当たらない場合は、職員同士声かけを行い、所在、安全確認を行っている
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤、薬品類は、保管し、鍵をかけている。包丁ハサミ類は見守りにて使用出来るようにしている。針は使用後本数確認している	○	常時使用する手洗いの洗剤や消毒剤は、手の届かない所に置き、使用時職員が、管理している。又台所への入室は、日々注意を払っている
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりの状態に合わせた事故防止についてカンファレンスを行い職員間での連携を取り実行している。ヒヤリハットなどで、職員全体の意識を強化している又、年2回の防災の為の研修や、訓練を行っている	○	誤薬に関して複数の職員で確認している。転倒等の事故に繋がらないよう、職員間で意見交換を行い、又カンファレンスを実施し最善の注意を払っている
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時のマニュアルを掲示し、医療機関とも連携を取り対応するよう、全職員把握できている。又救急救命法の講習会にも出席し対応出来るように学んでいる	○	急変や事故発生時、あわてず、冷静に対処できるように心がけたい
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災に関する調査や消火器の使用方法など消防署の協力により指導を受けている。又避難経路の確認もしている。そして防災についての内部研修も行っている	○	夜勤者は一人の為身近に非常口の鍵を携帯している又非常階段、出入り口においても日頃より整備している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	状態の変化に応じてその都度家族と密に話をし又主治医から家族へ説明をして頂き家族の意向を受け入れて対応している	○	職員が知りえる事または状況を家族に随時報告していく
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日2回のバイタルチェック、水分量、食事摂取量、排泄の確認を行い、表情や体調の変化に気付いた時は、速やかにナースに連絡し指示を仰ぎ対応している。申し送りにて情報を共有している	○	常に入居者の健康状態を把握し職員間の情報交換、そしてナースとの連携をとり、早期発見に努めたい
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方箋を個人記録にはさみ把握出来るようにしている。又職員室にも確認できるように掲示してある。変更の場合ナースより指示があり、又状態の変化があった時はすぐに報告し対応している。連絡ノートにより職員間で情報を共有している	○	薬の副作用、用法、用量は、職員それぞれ処方箋に目を通し把握するように努めたい
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	牛乳やヨーグルトを提供したり、水分摂取量にも注意を払っている日常生活を通じラジオ体操やリハビリ体操、そして散歩により体を動かしてもらい、極力薬に頼らないよう気をつけている	○	常にナースと連携を取り適度な運動と水分摂取には、注意を払い、便秘状態が長く続かないよう対応している
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食前のうがいの実施、そして毎食後、口腔ケアの実施、又介助を要する人は、口腔内に残渣物がないか確認している	○	個々にあった口腔ケアを行っている
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態によって主治医より指示された水分量食事量を目指し確保するように努めている	○	水分摂取には、カロリー等を配慮しながら、色々な飲み物を提供し水分量を確保して頂く。又栄養のバランスがとれるよう、家人に報告し協力してもらっている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症に対するマニュアルを作成し、全職員が予防に努めている。予防接種等も同法人内の医師と連携をとり施行。ノロウイルス対策としては、まな板等の除菌、手洗い、うがいの徹底をしている	○	現状維持で徹底して取組んでいきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板スポンジ、台拭きその他、毎晩除菌している食材に関しては、毎日新鮮な食材を届けてもらっている	○	このまま常に清潔保持に努めたい
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関付近には、花や野菜を植え、家庭的雰囲気を作り親しみやすいよう工夫している。	○	入居者の意向も取り入れ色々な花、野菜を植え楽しんで頂きたい
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールには、ソファを設置し、いつでも座れるようになっている。壁には、壁画等をかけ居心地良く過ごせるよう工夫している	○	居心地良く落ち着ける空間を多く作っていきたい
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにソファを置き自由に座れるようにしている	○	入居者一人ひとりが、自分の家のように過ごせる空間を職員達と共に作っていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた道具や身のまわりのものを置いたり、ベッドはあるが、状況に応じて、布団で休んで頂いたりしている。	○	居室に関しては、入居者の希望に沿っているいろいろな物を置いたり、又安全にも配慮し居心地よく過ごせる空間を作っていきたい
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気扇は、24時間ついており、窓を開けたりしている。温度調節は職員が常に留意し、入居者の状態をみて行っている	○	職員が常に気配りし、入居者が快適に過ごせるように対応していく
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、浴室、トイレには、手すりが設置され、安全に移動できるようになっている。又入居者の状況に応じて、車椅子も使用している	○	入居者が残存機能をいかし、又安全に暮らせるよう工夫している
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室入り口には、表札をつけ自室がわからない入居者に、解かりやすいよう工夫している	○	さりげなく解かるよう工夫していきたい
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダには、季節の花、野菜等を植え入居者に水遣りをしてもらい、生育を楽しんでもらっている	○	一緒に花木に水やりをしたり、花木を眺めて外気浴を楽しんだりしている。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)